

F T R 1 0 0 & F T 5 0  
環境モニタリング  
報告書

平成29年12月

大会主催：FunTrails  
調査実施機関：株式会社環境管理センター

## 目 次

1. 概要	.....	頁 1
2. モニタリング手法	.....	1
3. 地点図	.....	2
4. 気象	.....	3
5. 調査結果	.....	4
6. まとめ	.....	23

## 1. 大会概要

当初予定の大会概要は、下記に示す通りである。

しかし、大会は、予定通りスタートしたものの、11月18日 13時頃、主催者判断により中止となった。従って、予定通り大会参加者が通過したのは、M-1～M-4に限られるが、事後調査は、予定通りに全地点で調査を実施した。

- 1) 大会名称  
Fun Trails 100K Round Chichibu&Okumusashi  
Fun Trails 50K Two Lakes&Green Line
- 2) 大会日時  
平成29年11月18日（土）～19日（日）
- 3) 大会主催  
Fun Trails
- 4) 大会主管  
Fun Trails 100K Round 秩父&奥武蔵実行委員会
- 5) 大会開催場所  
埼玉県秩父市、横瀬町、飯能市、毛呂山町
- 6) コース情報
  - ① FTR100  
秩父特設会場（18日 5時スタート）～武甲山～有間峠～名栗湖～竹寺～子ノ権現～東峠～多峯主山～飯能中央公園～巾着田～鎌北湖～顔振峠～高山不動～関八州見晴台～刈場坂峠～県民の森～秩父特設会場（19日 14時ゴール制限時間）  
距離：約105キロ、累積標高差：約6,658m 制限時間：33時間
  - ② FT50  
飯能中央公園（18日 7時スタート）～多峯主山～巾着田～鎌北湖～顔振峠～高山不動～関八州見晴台～刈場坂峠～県民の森～秩父特設会場（18日 22時ゴール制限時間）  
距離：約52キロ、累積標高差：約2,717m 制限時間：15時間
- 7) 大会参加者
  - ① FTR100 718名（大会エントリー数）
  - ② FT50 687名（大会エントリー数）

## 2. モニタリング手法

モニタリング手法のまとめを表2-1に示す。

なお、モニタリング地点の詳細は、次頁以降に示す。

表2-1 モニタリング手法のまとめ

手法	方法	モニタリング地点	実施日
環境影響 モニタリング	大会実施前後の写 真撮影による比較	M-1、M-2、M-3	11月4日（実施前）
		M-4、M-5、NM-6	11月18日（実施後）
		NM-8、NM-9	11月19日（実施後）
利用影響 モニタリング	大会実施中に登山 者を含む一般利用 者にヒアリング	M-7	11月18日（実施中）

### 3. モニタリング地点図

モニタリング地点を図2-1に示す。

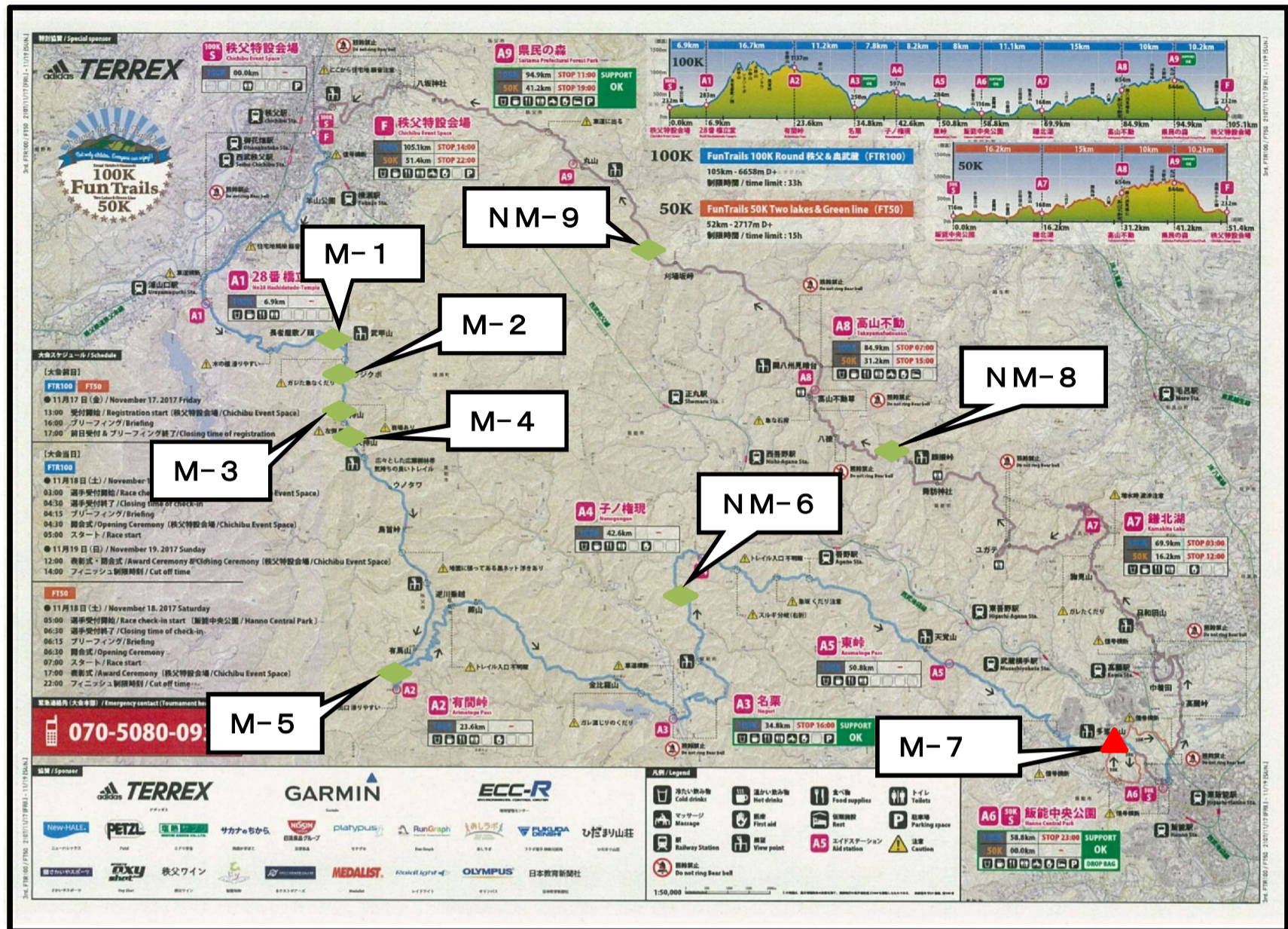


図2-1 モニタリング地点図

凡例) ◆ : 環境影響モニタリング地点  
 ▲ : 利用影響モニタリング地点  
 地点図出典 : 大会HPより

#### 4. 気象

11月（大会を実施した月）の降水量は、表4-1に、大会実施日の気象状況は、表4-2に示す通りである。

なお、表4-1、表4-2の気象データは、気象庁観測（秩父、飯能）のデータを抜粋した。

表4-1 11月の降水量

日	秩父			飯能			調査フェーズ
	合計	最大		合計	最大		
		1時間	10分間		1時間	10分間	
4	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.5	事前調査
5	--	--	--	0.0	0.0	0.0	
6	--	--	--	0.0	0.0	0.0	
7	--	--	--	0.0	0.0	0.0	
8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
9	--	--	--	0.0	0.0	0.0	
10	--	--	--	0.0	0.0	0.0	
11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
12	--	--	--	0.0	0.0	0.0	
13	--	--	--	0.0	0.0	0.0	
14	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.5	
15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
16	--	--	--	0.0	0.0	0.0	
17	--	--	--	0.0	0.0	0.0	
18	--	--	--	0.0	0.0	0.0	事後調査
19	--	--	--	0.0	0.0	0.0	事後調査

表4-2 大会実施日の気象状況（11/18）

時	秩父				天気	飯能 降水量 mm	
	降水量 mm	気温 ℃	風向・風速 (m/s)				
			風速	風向			
1	--	3.1	0.4	北	曇	0.0	
2	--	3.1	0.3	南南東	曇	0.0	
3	--	3.4	0.9	南南東	曇	0.0	
4	--	3.5	0.7	南南西	曇	0.0	
5	--	3.7	0.4	北西	曇	0.0	実施中
6	--	3.7	0.5	東北東	曇	0.0	実施中
7	--	3.9	1.2	南	曇	0.0	実施中
8	--	4.6	0.7	西	曇	0.0	実施中
9	--	5.3	0.3	東	曇	0.0	実施中
10	--	6.4	0.8	北北西	曇	0.0	実施中
11	--	7.1	0.4	東北東	曇	0.0	実施中
12	--	7.9	0.4	南	曇	0.0	実施中
13	--	8.1	0.5	北東	曇	0.0	実施中
14	--	8.3	1.3	北北西	曇	0.0	
15	--	8.4	0.8	北東	曇	0.0	
16	--	8.0	0.9	南南西	曇	0.0	
17	--	7.2	1.0	北北西	曇	0.0	
18	--	7.1	0.9	北北東	曇	0.0	
19	--	6.4	0.6	東北東	曇	0.0	
20	--	6.7	0.5	北西	曇	0.0	
21	--	9.0	2.9	西北西	晴	0.0	
22	--	10.0	6.3	西北西	晴	0.0	
23	--	8.8	5.6	西北西	晴	0.0	
24	--	7.8	4.2	西	晴	0.0	

## 5. 調査結果

調査結果は、次頁以降に示す。

地点名称	M-1		
緯度	N35° 57' 04.8		
経度	E139° 11' 43.5		
標高	1178m		
地点概要	武甲山直下の地点。武甲山の登山道に位置し急勾配の地点にて、登山道保護が目的で木段が設置されている。昨年も実施した地点（進行方向に対して登り斜面）。		
選定理由	登り斜面であるものの、多数の大会参加者により木段の破損や登山道への影響が考えられるため。		
モニタリング手法	写真撮影による（大会実施前後の比較） FTR100大会参加者が全て通過した後、実施した。		
使用機材	デジタルカメラ	リコー社製 WG-40w	
	緯度経度、標高	スマートフォンアプリ（地図ロイド）	
	斜度の測定	スマートフォンアプリ	
	洗掘高の測定	メジャーによる	
	大会実施前		大会実施後
日時（天候）	11月4日 晴	日時（天候）	11月18日 曇
実施者	宮治、吉永	実施者	宮治、吉永、小高
幅員	2.3m	幅員	2.3m
斜度	登り方向 19°	斜度	登り方向 19°
洗掘高	0.05m	洗掘高	0.05m
大会実施前後で比較した結果	大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。 （斜度及び洗掘高は、階段部より約3m程下の地点で確認した。）		
① 進行方向 近景		① 進行方向 近景	
			
② 進行方向 遠景		② 進行方向 遠景	
			

地点名称	M-1	
大会実施前 ③ 逆方向 近景	大会実施後 ③ 逆方向 近景	
		
④ 逆方向 遠景	④ 逆方向 遠景	
		
⑤ 洗掘高の測定	⑤ 洗掘高の測定	
		
⑥ 斜度の測定	⑥ 斜度の測定	
		



地点名称	M-2		
緯度	N35° 56' 41.8		
経度	E139° 05' 47.0		
標高	1066m		
地点概要	シラジクボ。武甲山より子持山方面へ降りた尾根の箇所。昨年も実施した地点。路面は比較的固く締まっている状況。		
選定理由	武甲山より降りた地点であり尾根である。多数の大会参加者の通過に伴い、尾根そのものへの影響が懸念されるため。		
モニタリング手法	写真撮影による（大会実施前後の比較） FTR100大会参加者が全て通過した後、実施した。		
使用機材	デジタルカメラ	リコー社製 WG-40w	
	緯度経度、標高	スマートフォンアプリ（地図ロイド）	
	斜度の測定	スマートフォンアプリ	
	洗掘高の測定	メジャーによる	
	大会実施前		大会実施後
日時（天候）	11月4日 晴	日時（天候）	11月18日 曇
実施者	宮治、吉永	実施者	宮治、吉永
幅員	0.8m	幅員	0.8m
斜度	下り方向 3°	斜度	下り方向 3°
洗掘高	0.00m	洗掘高	0.00m
大会実施前後で比較した結果	大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。		
① 進行方向 近景		① 進行方向 近景	
			
② 進行方向 遠景		② 進行方向 遠景	
			





地点名称	M-2	
大会実施前 ③ 逆方向 近景	大会実施後 ③ 逆方向 近景	
		
④ 逆方向 遠景	④ 逆方向 遠景	
		
⑤ 洗掘高の測定	⑤ 洗掘高の測定	
		
⑥ 斜度の測定	⑥ 斜度の測定	
		

地点名称	M-3		
緯度	N35° 56' 23.3		
経度	E139° 05' 49.1		
標高	1073m		
地点概要	子持山周辺。 シラジクボから続く稜線上にあり登山道が複線した地点。		
選定理由	昨年実施した地点。 登山道の拡幅化等が更に進行した場合、登山者等の安全な通過が難しくなる恐れがあるため。		
モニタリング手法	写真撮影による（大会実施前後の比較） FTR100大会参加者が全て通過した後、実施した。		
使用機材	デジタルカメラ	リコー社製 WG-40w	
	緯度経度、標高	スマートフォンアプリ（地図ロイド）	
	斜度の測定	スマートフォンアプリ	
	洗掘高の測定	メジャーによる	
	大会実施前		大会実施後
日時（天候）	11月4日 晴	日時（天候）	11月18日 曇
実施者	宮治、吉永	実施者	宮治、吉永
幅員	2.0m	幅員	2.0m
斜度	登り方向 16°	斜度	登り方向 16°
洗掘高	0.00m	洗掘高	0.00m
大会実施前後で比較した結果	大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。		
① 進行方向 近景		① 進行方向 近景	
			
② 進行方向 遠景		② 進行方向 遠景	
			

地点名称	M-3	
大会実施前 ③ 逆方向 近景	大会実施後 ③ 逆方向 近景	
		
④ 逆方向 遠景	④ 逆方向 遠景	
		
⑤ 洗掘高の測定	⑤ 洗掘高の測定	
		
⑥ 斜度の測定	⑥ 斜度の測定	
		

地点名称	M-4														
緯度	N35° 56' 05.7														
経度	E139° 11' 50.7														
標高	1242m														
地点概要	大持山周辺。小持山から続く稜線上にあり登山道が複線した地点。急斜度であり、路面に木の根や倒木があるため、非常に走りにくい。														
選定理由	昨年実施した地点。登山道の拡幅化等が更に進行した場合、登山者等の安全な通過が難しくなる恐れがあるため。														
モニタリング手法	写真撮影による（大会実施前後の比較） FTR100大会参加者が全て通過した後、実施した。														
使用機材	<table border="1"> <tr> <td>デジタルカメラ</td> <td colspan="2">リコー社製 WG-40w</td> </tr> <tr> <td>緯度経度、標高</td> <td colspan="2">スマートフォンアプリ（地図ロイド）</td> </tr> <tr> <td>斜度の測定</td> <td colspan="2">スマートフォンアプリ</td> </tr> <tr> <td>洗掘高の測定</td> <td colspan="2">メジャーによる</td> </tr> </table>			デジタルカメラ	リコー社製 WG-40w		緯度経度、標高	スマートフォンアプリ（地図ロイド）		斜度の測定	スマートフォンアプリ		洗掘高の測定	メジャーによる	
デジタルカメラ	リコー社製 WG-40w														
緯度経度、標高	スマートフォンアプリ（地図ロイド）														
斜度の測定	スマートフォンアプリ														
洗掘高の測定	メジャーによる														
	大会実施前		大会実施後												
日時（天候）	11月4日 曇	日時（天候）	11月18日 曇												
実施者	宮治、吉永	実施者	宮治、吉永												
幅員	0.8m	幅員	0.8m												
斜度	下り方向 17°	斜度	下り方向 21°												
洗掘高	0.10m	洗掘高	0.10m												
大会実施前後で比較した結果	大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。														
① 進行方向 近景		① 進行方向 近景													
															
② 進行方向 遠景		② 進行方向 遠景													
															

地点名称		M-4	
大会実施前		大会実施後	
③	逆方向 近景	③	逆方向 近景
			
④	逆方向 遠景	④	逆方向 遠景
			
⑤	洗掘高の測定	⑤	洗掘高の測定
			
⑥	斜度の測定	⑥	斜度の測定
			



地点名称	M-5														
緯度	N35° 52' 45.9														
経度	E139° 06' 38.0														
標高	1164m														
地点概要	有間山～有間峠間の有間山稜は、大持山から続く登山道であり、幅広い登山道のため、比較的走りやすい箇所である。														
選定理由	昨年実施した地点である。 有間山～有間峠間の有間山稜の登山道は、比較的路面が柔らかく大会参加者による影響が考えられるため。														
モニタリング手法	写真撮影による (大会実施前後の比較)														
使用機材	<table border="1"> <tr> <td>デジタルカメラ</td> <td colspan="2">富士フィルム社製 FinePix XP70</td> </tr> <tr> <td>緯度経度、標高</td> <td colspan="2">スマートフォンアプリ (地図ロイド)</td> </tr> <tr> <td>斜度の測定</td> <td colspan="2">スマートフォンアプリ</td> </tr> <tr> <td>洗掘高の測定</td> <td colspan="2">メジャーによる</td> </tr> </table>			デジタルカメラ	富士フィルム社製 FinePix XP70		緯度経度、標高	スマートフォンアプリ (地図ロイド)		斜度の測定	スマートフォンアプリ		洗掘高の測定	メジャーによる	
デジタルカメラ	富士フィルム社製 FinePix XP70														
緯度経度、標高	スマートフォンアプリ (地図ロイド)														
斜度の測定	スマートフォンアプリ														
洗掘高の測定	メジャーによる														
	大会実施前		大会実施後												
日時 (天候)	11月4日 曇		日時 (天候) 11月19日 晴												
実施者	二瓶、武藤、小高		実施者 二瓶、武藤、吉永												
幅員	0.6m		幅員 0.6m												
斜度	下り方向 6°		斜度 下り方向 6°												
洗掘高	0.03m		洗掘高 0.03m												
大会実施前後で比較した結果	大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。														
① 進行方向 近景		① 進行方向 近景													
															
② 進行方向 遠景		② 進行方向 遠景													
															

地点名称	M-5	
大会実施前 ③ 逆方向 近景	大会実施後 ③ 逆方向 近景	
		
④ 逆方向 遠景	④ 逆方向 遠景	
		
⑤ 洗掘高の測定	⑤ 洗掘高の測定	
		
⑥ 斜度の測定	⑥ 斜度の測定	
		




地点名称	NM-6		
緯度	N35° 53' 57.7		
経度	E139° 11' 00.6		
標高	592m		
地点概要	<p>関東ふれあいの道（「奥武蔵の古刹をたずねるみち」）の一部である。  進行方向に対して下り方向にあり、登山道周辺は笹や針葉樹があり、路面は比較的柔らかな状況である。</p>		
選定理由	<p>関東ふれあいの道（「奥武蔵の古刹をたずねるみち」）を通過するため。</p>		
モニタリング手法	<p>写真撮影による  （大会実施前後の比較）</p>		
使用機材	デジタルカメラ	富士フィルム社製 FinePix XP70	
	緯度経度、標高	スマートフォンアプリ（地図ロイド）	
	斜度の測定	スマートフォンアプリ	
	洗掘高の測定	メジャーによる	
	大会実施前		大会実施後
日時（天候）	11月4日 曇	日時（天候）	11月19日 晴
実施者	二瓶、武藤、小高	実施者	二瓶、武藤、吉永
幅員	2.1m	幅員	2.1m
斜度	下り方向 7°	斜度	下り方向 7°
洗掘高	0.10m	洗掘高	0.10m
大会実施前後で比較した結果	<p>大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。</p>		
① 進行方向 近景		① 進行方向 近景	
			
② 進行方向 遠景		② 進行方向 遠景	
			



地点名称	NM-6	
大会実施前 ③ 逆方向 近景	大会実施後 ③ 逆方向 近景	
		
④ 逆方向 遠景	④ 逆方向 遠景	
		
⑤ 洗掘高の測定	⑤ 洗掘高の測定	
		
⑥ 斜度の測定	⑥ 斜度の測定	
		

地点名称	M-7	
緯度	N35° 52' 05.2	
経度	E 139° 17' 52.7	
標高	270m	
地点概要	多峯主山山頂。飯能駅より徒歩圏内にあり、交通の便も良いことから飯能市民の憩いの場になっている。また県外からも訪問者がいる飯能市の有数の観光名所でもある。	
選定理由	飯能市中央公園より、F T 50が朝7時に出発し、一方で、午後～夜に掛けてF T R 100の大会参加者も通過する。そのため、大会参加者が必ず通過することと、登山客を含む一般参加者が接触する可能性が高いため。	
モニタリング手法	登山者を含む一般利用者へのヒアリングによる。	
大会実施中		
日時 (天候)	11月18日 13:50~14:30	曇
実施者	二瓶、吉田、武藤	
一般利用者の状況	登山客を含む一般利用者が少なく、数名の登山者が休んでいる状況であった。	
大会参加者の状況	大会中止連絡後のため、F T R 100の大会参加者が時折通過する程度であった。	
① 調査地点 近景		② 調査地点 遠景
		
③ 調査風景		④ 調査風景
		

地点名称	M-7					
ヒアリング対象者	合計	6人	女性	1人	男性	5人
年齢		20代未満	0人	20代	1人	
		30代	0人	40代	0人	
		50代	0人	60代	1人	
		70代	3人			
お住まいの県	埼玉県内		3人			
	埼玉県以外関東地方		3人			
	関東地方以外		0人			
今回の訪問目的	1. 登山など		2人			
	2. 散歩		1人			
	3. その他 例		3人			
			観光 岩登りの下見			
トレイルランを知っていますか。	1. 知っている		6人			
	2. 知らない		0人			
	3. 無回答		0人			
本日の大会開催を知っていましたか。	1. 知っている		2人			
	2. 知らない		4人			
	3. 無回答		0人			
本日の大会でランナーや応援者のマナー等で気になった点がありましたか。	1. とくになし		6人			
	2. あった		0人			
			・人数も少ないため。 ・走る人の気持ちは、分かるので配慮している。			
	3. 無回答		0人			
大会に係る標識等による戸惑い（標識の見間違いなど）はありましたか。	1. とくになし		6人			
	2. あった		0人			
			・大会参加者から前を走る人のことを聞かれた。			
	3. 無回答		0人			
大会関係の仮設工作物等、大会関係者が集まっている場所（ex. 飯能中央公園 FT50スタート地点）において、通行や休憩に支障はありましたか。	1. とくになし		6人			
	2. あった		0人			
			・回収してもらえばよい。			
	3. 無回答		0人			
その他本日の大会でトラブル等を見聞きしましたか。	1. とくになし		6人			
	2. あった		0人			
	3. 無回答		0人			

地点名称	NM-8																	
緯度	N35° 55' 41.3																	
経度	E139° 14' 12.9																	
標高	475m																	
地点概要	進行方向に対して左側が斜面であり、登山道そのものは平坦であるものの比較的柔らかい路面である。周囲は、造成林（杉）である。																	
選定理由	昨年大会実施後に修復を行った箇所であるため。																	
モニタリング手法	写真撮影による (大会実施前後の比較)																	
使用機材	<table border="1"> <tr> <td>デジタルカメラ</td> <td colspan="2">富士フィルム社製 FinePix XP70 (大会実施前)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">リコー社製 WG-40w (大会実施後)</td> </tr> <tr> <td>緯度経度、標高</td> <td colspan="2">スマートフォンアプリ (地図ロイド)</td> </tr> <tr> <td>斜度の測定</td> <td colspan="2">スマートフォンアプリ</td> </tr> <tr> <td>洗掘高の測定</td> <td colspan="2">メジャーによる</td> </tr> </table>			デジタルカメラ	富士フィルム社製 FinePix XP70 (大会実施前)			リコー社製 WG-40w (大会実施後)		緯度経度、標高	スマートフォンアプリ (地図ロイド)		斜度の測定	スマートフォンアプリ		洗掘高の測定	メジャーによる	
デジタルカメラ	富士フィルム社製 FinePix XP70 (大会実施前)																	
	リコー社製 WG-40w (大会実施後)																	
緯度経度、標高	スマートフォンアプリ (地図ロイド)																	
斜度の測定	スマートフォンアプリ																	
洗掘高の測定	メジャーによる																	
	大会実施前		大会実施後															
日時 (天候)	11月4日 晴	日時 (天候)	11月19日 晴															
実施者	二瓶、武藤、小高	実施者	吉田、宮治、小高															
幅員	0.45m	幅員	0.45m															
斜度	登り方向 3°	斜度	登り方向 3°															
洗掘高	0.00m	洗掘高	0.00m															
大会実施前後で比較した結果	大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。																	
① 進行方向 近景		① 進行方向 近景																
																		
② 進行方向 遠景		② 進行方向 遠景																
																		

地点名称	NM-8
大会実施前 ③ 逆方向 近景	大会実施後 ③ 逆方向 近景
	
④ 逆方向 遠景	④ 逆方向 遠景
	
⑤ 洗掘高の測定	⑤ 洗掘高の測定
	
⑥ 斜度の測定	⑥ 斜度の測定
	

地点名称	NM-9														
緯度	N35° 58' 07.1														
経度	E139° 10' 48.3														
標高	843m														
地点概要	関東ふれあいの道（「峠の歴史をしのぶみち」と「グリーンラインに沿ったみち」）の一部である。進行方向へ下りであり、周囲は広葉樹であり路面は落ち葉で覆われている。														
選定理由	関東ふれあいの道（「峠の歴史をしのぶみち」と「グリーンラインに沿ったみち」）を通過するため。														
モニタリング手法	写真撮影による (大会実施前後の比較)														
使用機材	<table border="1"> <tr> <td>デジタルカメラ</td> <td colspan="2">富士フィルム社製 FinePix XP70 (大会実施前) リコー社製 WG-40w (大会実施後)</td> </tr> <tr> <td>緯度経度、標高</td> <td colspan="2">スマートフォンアプリ (地図ロイド)</td> </tr> <tr> <td>斜度の測定</td> <td colspan="2">スマートフォンアプリ</td> </tr> <tr> <td>洗掘高の測定</td> <td colspan="2">メジャーによる</td> </tr> </table>			デジタルカメラ	富士フィルム社製 FinePix XP70 (大会実施前) リコー社製 WG-40w (大会実施後)		緯度経度、標高	スマートフォンアプリ (地図ロイド)		斜度の測定	スマートフォンアプリ		洗掘高の測定	メジャーによる	
デジタルカメラ	富士フィルム社製 FinePix XP70 (大会実施前) リコー社製 WG-40w (大会実施後)														
緯度経度、標高	スマートフォンアプリ (地図ロイド)														
斜度の測定	スマートフォンアプリ														
洗掘高の測定	メジャーによる														
	大会実施前		大会実施後												
日時 (天候)	11月4日 晴	日時 (天候)	11月19日 晴												
実施者	二瓶、武藤、小高	実施者	吉田、宮治、小高												
幅員	2.5m	幅員	2.5m												
斜度	下り方向 13°	斜度	下り方向 13°												
洗掘高	0.08m	洗掘高	0.08m												
大会実施前後で比較した結果	大会前後で比較した結果、大きく変化した点は見られなかった。														
① 進行方向 近景	① 進行方向 近景														
															
② 進行方向 遠景	② 進行方向 遠景														
															

地点名称		NM-9	
大会実施前		大会実施後	
③	逆方向 近景	③	逆方向 近景
			
④	逆方向 遠景	④	逆方向 遠景
			
⑤	洗掘高の測定	⑤	洗掘高の測定
			
⑥	斜度の測定	⑥	斜度の測定
			



## 6. まとめ

本大会は1日目で中止になったものの、環境影響モニタリングとして調査した範囲内では、特に大会前後で大きく変化した地点はなかった。

また、今回初めて実施した利用影響モニタリングは、大会中止に伴い短時間の調査のため、ヒアリング対象が少なかったものの、大会について特別な意見は見られなかった。